

長野県北部姫川本流における特定外来生物 オオカワヂシャ(ゴマノハグサ科)の分布

大塚孝一¹・尾関雅章¹

長野県北部姫川本流において、2009年9月に、本流にかかるほぼすべての橋りょう付近で特定外来生物オオカワヂシャの分布を調査した。その結果、30ヶ所（橋りょう）のうち8ヶ所でオオカワヂシャの自生が確認された。自生する開花株数は2株から数十株で、県界付近では実生のみ見られた場所が3ヶ所あった。

キーワード：特定外来生物、オオカワヂシャ、分布概況、姫川、長野県

1. はじめに

オオカワヂシャ *Veronica anagallis-aquatica* L. は、ゴマノハグサ科クワガタソウ属の越年草で、ヨーロッパからアジア北部原産の外来種である。水湿地に生え、茎は直立または斜上し高さ0.3-1m、無毛、葉は対生し長楕円形、鋸歯は小さく全縁に近く、無柄で茎を抱き、4～9月に、上部の葉の腋ごとに総状花序を伸ばし、多数の花をつける¹⁾。長野県においては、近年千曲市で確認されたほか²⁾、千曲川本流域及び奈良井川・犀川本流で広く確認され、天竜川でも2ヶ所で確認されている^{3), 4)}。本種は繁殖力が強く他の水辺植物の生育場所を奪うほか、在来希少種のカワヂシャ *V. undulata* Wall. (長野県準絶滅危惧種⁵⁾) と自然状態で交雑し⁶⁾、遺伝的攪乱が懸念されていることから、2006年6月に施行された「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法) に基づき特定外来生物に指定されている。

この種の分布状況を把握し今後の対策等に資するため、先に行った千曲川本流及び奈良井川・犀川等における分布調査^{3), 4)}と同様に、今回、姫川本流で調査を行ったので分布概要を報告する。

2. 調査地及び調査方法

調査は2009年9月に、白馬村姫川源流から小谷村姫川温泉にかけての姫川本流において行った。川にかかるほぼすべての橋上から、左岸及び右岸の上

下流約100mの範囲の水際を双眼鏡を使用して探索し、発見できた場合は河川敷において種類を確認し、橋の名称、場所（左岸、右岸、上流、下流）、株数を記録した。株数については、各々の株の境がはっきりしない場合はできるだけ株元を確認しながら、また、河川敷の自生場所に到達することができず直接数えられない場合は、双眼鏡で判別できるおよその数とした。調査箇所数は30ヶ所で、調査に要した日数は3日であった。

3. 結果

調査結果を表1、図1に示す。姫川本流30ヶ所（橋りょう）のうち8ヶ所でオオカワヂシャの自生が確認された。自生する開花株数は1箇所あたり2株から数十株と様々であった。実生のみ多数生えていた箇所が3ヶ所あり、定着時期が新しいと考えられた。大きな広がりを持ち株数が特に多い場所はなかった。先の調査結果^{3), 4)}を含めた長野県全体の分布を図2に示す。なお、千曲川本流における2007年の調査³⁾は、佐久市から上流域を調査していなかったため、2009年9月19日に、佐久市住吉橋から南牧村古屋敷橋にかけての千曲川上流域にかかる21橋りょうを同様に調査したが、オオカワヂシャは確認できなかった。これによりほぼ全県の主要河川本流における分布概況についてほぼ把握できた。分布傾向について、千曲川流域及び犀川流域で多く確認され、天竜川流域、千曲川上流域では少なく、木曾川流域では確認されなかった。確認地点の多少

1 長野県環境保全研究所 自然環境部 〒381-0075 長野市北郷 2054-120

は、定着してからの時間経過の長短が関係しているであろうが、その他、本種の生育適地が流速はゆるやかであること、河川に土壌が存在することなどが考えられることから、流速が早く、土壌の少ない河川環境では定着しにくいと考えられる。

4. おわりに

オオカワヂシャは、1926年に神奈川県で採集されていることから、この頃日本に入ってきたと考えられている¹⁾。かつて関東地方以西の水場で見い

だされることが多かったが⁷⁾、最近では新潟県、千葉県、東京都などの都県でも確認されている⁸⁾。今回の調査で長野県においても広く分布していることがわかった。伝搬経路の詳細については不明であるが、今後さらに分布を広げる可能性がある。2008年6月の上田市に引き続き、2009年6月に安曇野市において県主催の駆除研修会が開催された。今後も本種の動態に注意し、種子形成前の抜き取り等によりさらに分布拡大をさせない取り組みが重要である。

表1 姫川本流におけるオオカワヂシャの調査場所及び分布確認状況
調査年：2009年。－は発見できなかったこと等を示す。

調査した橋の名称等	所在地	確認した場所	開花株数	調査日	番号
大網発電所専用橋	小谷村姫川温泉	左岸上下流	－ (実生約100株)	9月22日	1
姫川湯橋	小谷村姫川温泉	左岸下流	－ (実生約1000株以上)	9月22日	2
大網橋	小谷村姫川温泉	左岸下流	－ (実生約50株)	9月22日	3
小谷橋	小谷村北小谷	右岸上下流	数十株	9月22日	4
新姫川橋	小谷村北小谷	－	－	9月11日	
姫川橋	小谷村中土	－	－	9月11日	
中央橋	小谷村中小谷	－	－	9月11日	
宮本橋	小谷村宮本	右岸下流	十数株	9月11日	5
柳瀬橋	小谷村南小谷	－	－	9月11日	
月岡橋	小谷村月岡	－	－	9月11日	
高橋	小谷村坪ノ沢	－	－	9月20日	
川上橋	小谷村滝平	－	－	9月20日	
椀池大橋	小谷村梨平	－	－	9月20日	
水神宮橋	白馬村塩島	－	－	9月20日	
内川橋	白馬村大出	右岸上流	2株	9月20日	6
大出吊橋	白馬村大出	左岸上流	5株	9月20日	7
天神宮橋	白馬村大出	－	－	9月20日	
蕨平橋	白馬村蕨平	右岸上流	7株	9月20日	8
下河原大橋	白馬村下河原	－	－	9月20日	
赤坂橋	白馬村飯森	－	－	9月20日	
姫川橋	白馬村飯森	－	－	9月20日	
無名の橋(白馬山麓植物園入口)	白馬村飯森	－	－	9月20日	
土合橋	白馬村飯森	－	－	9月20日	
大川橋	白馬村神城	－	－	9月20日	
田工田橋	白馬村神城	－	－	9月20日	
南沖橋	白馬村神城	－	－	9月20日	
奈良井橋	白馬村佐野	－	－	9月20日	
佐野沖橋	白馬村佐野	－	－	9月20日	
無名の橋(姫川源流下流)	白馬村佐野	－	－	9月20日	
姫川源流	白馬村佐野	－	－	9月20日	

文 献

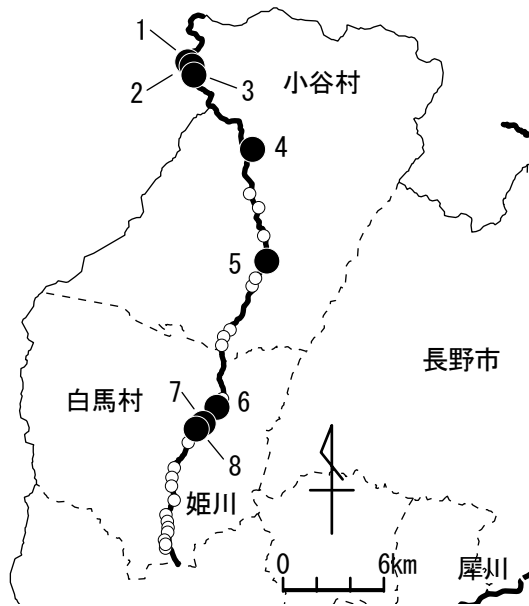


図1 姫川本流におけるオオカワヂシャの自生確認地点
黒丸は確認地点を、白丸はその他の調査地点を表す。図中の番号は表1の番号と対応する。

- 1) 山崎敬 (2003) ゴマノハグサ科, 清水建美編「日本の帰化植物」pp.184-191. 平凡社, 東京.
- 2) 大塚孝一・尾関雅章・宮入盛男 (2007) 特定外来生物オオカワヂシャ (ゴマノハグサ科) の千曲市における自生確認, 長野県植物研究会誌 40: 151-153.
- 3) 大塚孝一・尾関雅章 (2008) 千曲川本流における特定外来生物オオカワヂシャ (ゴマノハグサ科) の分布, 長野県環境保全研究所研究報告 4: 93-95.
- 4) 大塚孝一・尾関雅章 (2009) 長野県の主要河川における特定外来生物オオカワヂシャ (ゴマノハグサ科) の分布, 長野県環境保全研究所研究報告 5: 83-86.
- 5) 長野県 (2002) 長野県版レッドデータブック 維管束植物編, 297pp, 長野.
- 6) Tanaka T. (1995) *Veronica* × *myriantha* a new hybrid from the Kansai District, Japan. The Journal of Japanese Botany 70: 260-267.
- 7) 清水炬宏・森田弘彦・廣田伸七 (2001) 日本帰化植物写真図鑑, 554pp, 全国農村教育協会, 東京.
- 8) 金井弘夫・清水健美・近田文弘・濱崎恭美 (2008) 都道府県別帰化植物分布図, 350pp.

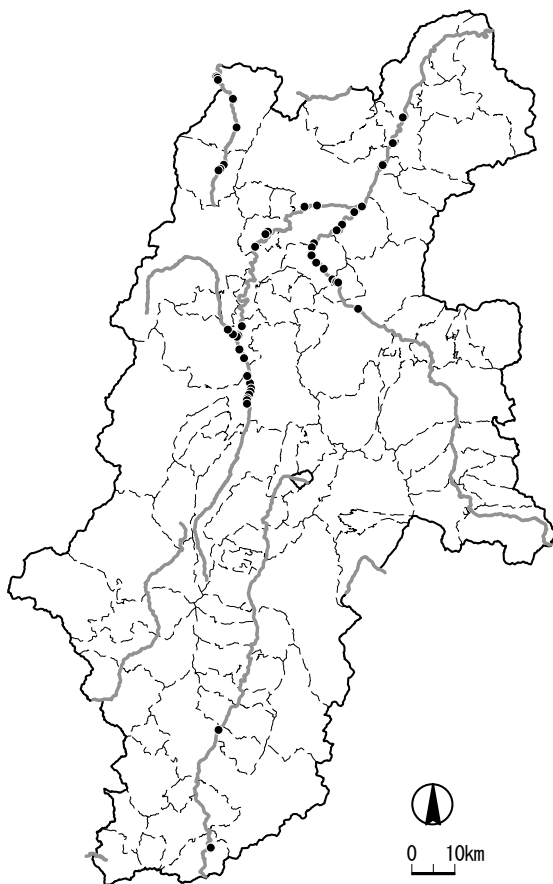


図2 長野県の主要河川におけるオオカワヂシャの自生確認地点

Distribution of the invasive alien species *Veronica anagallis-aquatica* L. in the Himekawa River,
northern Nagano Prefecture

Koichi OTSUKA and Masaaki OZEKI

*Nagano Environmental Conservation Research Institute, Natural Environment Division,
2054-120 Kitago, Nagano 381-0075, Japan*